

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)

【公表番号】特表 2014-520974 (P2014-520974A)  
 【公表日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-045  
 【出願番号】特願 2014-520363 (P2014-520363)  
 【国際特許分類】

**D 2 1 D 1/30 (2006.01)**

【F I】

D 2 1 D 1/30

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

入口区分 12 は、大きな供給材料粒子を破壊し、供給材料を外側区分 14 の溝に案内する互い違いのバーを含む。外側区分 14 の内側リファイニングゾーン 44 は、供給材料を入口区分から受け取る。内側リファイニングゾーン 44 におけるバー 37 は、バーへの入口におけるバーに対応する半径ラインと位置合わせされ、これは 0 度のホールドバック角又は供給角である。内側リファイニングゾーン 44 は、木材チップをリファイニングし、部分的にリファイニングされた木材チップを、外側リファイニングゾーン 46 への入口に供給する。木材チップの部分的なリファイニングは、木材チップを、細かいバー 36 及び狭い溝を有する外側リファイニングゾーン 46 に供給することを補助する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

図 13 は、平滑なトレイリング側壁 130 及び不規則な表面、例えばリーディング側壁 128 上の一連の「7」を有するバー 120 を断面で示す。図 14 は、図 13 に示されるようなバーのリーディング側壁上の同一の不規則な表面特徴を正面図で示す。不規則な表面の特徴は、ほとんどのリファイニングが起こるバーのリッジ 126 の付近のバー側壁上でより顕著である。不規則な表面の特徴は、バー側壁上において、プレート基板 122 の方向に次第により顕著でなくなる。不規則な表面の突起 176 は、溝を通る供給材料の移動を遅滞させる傾向があり、それによってプレートのリファイニングゾーンにおける供給材料の保持時間を増大させる。突起 176 は、リッジ 126 から基板 122 までテーパ状になる。プレートの基板 122 の付近において、突起は、リーディング側壁 128 の平滑な下部表面 178 に一体化する。